

令和8年度 利用間伐事業他1 仕様書

仕様書番号 大和8- 2号
大和11-

契約地番号 やし

制限林種 保安林

施工場所 郡上市大和町内ヶ谷字下平30-23 地内

利用間伐齢級	3~12齢級
間伐率	30%

事業主体	名称	(公社)木曾三川水源造成公社
	所在地	美濃市生櫛1612-2
審査者	職・氏名	業務課長兼契約対策課長 野田昌吾
設計者	職・氏名	技師 北村康将

利 用 間 伐 （ 3～12齡級 ） 総 括 表

間伐率 30 %

契約地番号 やし 施工地： 郡上市大和町内ヶ谷字下平30-23 地内（ ）

費 目	工 種	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要
大和8-2号 利用間伐 やし	工 事 価 格	17.00	ha				利用間伐事業明細表のとおり
	消費税等相当額	10.0	%				
本工事費							
大和11-2号 作業路補修 やし	工 事 価 格	1,600.00	m				作業路補修事業明細表のとおり
	消費税等相当額	10.0	%				
本工事費							
	工 事 価 格						
	消費税等相当額		%				
本工事費							
	工 事 価 格						
	消費税等相当額		%				
本工事費							
本工事費合計	工事価格合計						
	消費税等相当額合計						
本工事費合計							

令和8年度 利用間伐事業仕様書

仕様書番号 利間 号

契約地番号 やし

制限林種 保安林

施工場所 郡上市大和町内ヶ谷字棚元

利用間伐齡級	3~12齡級
間伐率	30%

事業主体	名称	(公社)木曾三川水源造成公社
	所在地	美濃市生櫛1612-2
審査者	職・氏名	業務課長兼契約対策課長 野田昌吾
設計者	職・氏名	技師 北村康将

No. 利用間伐（3～12齡級）事業費明細表

契約地番号 やし 施工地： 郡上市大和町内ヶ谷字棚元 間伐率： 30 %

費目	工種	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	単価表 番号	摘要
直接 工事費 (標準単価)	利用間伐	間伐 架線系	17.00	ha			
		計					
	共通仮設費	共通仮設費	8.4	%			
	計						
間接費		現場監督費	21.0	%			純工事費比
		法定福利費	18.0	%			
							(間接費) 現場監督費率 21 % 法定福利費率 18 %
		計					
	工事価格						
	消費税等相当額	10.0	%				
本工事費							

No. I-7-1

利 用 間 伐 (3~12 齡 級) 明 細 表

間伐率 30 %

契約地番号 やし

施工地： 郡上市大和町内ヶ谷字棚元 (保安林)

適用歩掛間伐齡級

3 ~ 12 齡 級

伐 採 率

3 0 % 以 上

間伐区分

架 線 系

30 度 以 上

木寄せ・搬出材積

A) 1020.000 m³

0 ~ 20 分 未 滿

利用間伐面積

B) 17.000 ha

D) = A / B = 60.000 m³/ha

基準搬出量

C) m³

名 称	種 別	形状寸法・樹種	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要				
								施工面積	成立本数	林 齡	契約NO	林地NO
間伐	架線系	スギ、ヒノキ	17.00	ha	0			17.00	1,200	44	やし	
												2
												3
												4
												5
計			17.00	ha		0						

※成立本数は、1ha当たりの本数を入力（本/ha）。
10の位は切捨てとする。
（森林保険に係る参考入力）
※林地単位ごとに積算

間 伐 （ 3～12齡級 ） 単 価 表

No. I-7-3		間伐 選木		選木	列状	(100本当たり)		
名 称	種 別	形 状 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要
特殊作業員								
普通作業員								
諸雑費								
			100	本				
計				1	本			

備考 1 本表には、伐倒対象木を選木し表示する工程に適用する。
 2 諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用。労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上。

No. I-7-4		間伐 伐倒					(100本当たり)		
名 称	種 別	形 状 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要	
特殊作業員									
普通作業員									
諸雑費									
			100	本					
計				1	本				

備考 1 本表は、伐倒し、伐倒木を地面に引き落とす工程及び伐倒木の幹が地面に着くまでの枝払いをする工程に適用する。
 2 諸雑費は、チェーンソーの損料、燃料及びチェーンオイル等の伐倒に必要な機械器具の使用に要する費用。労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上。

間 伐 （ 3～12齡級 ） 単 価 表

No. I-7-5

間伐 造材 (A・B材)

(10m³当たり)

林業機械：プロセッサまたはハーベスタのベ-スマシ規格 0.45m³

名 称	種 別	形状・寸法	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要
特殊運転手								
損料	バックホウ							
損料	アタッチメント							
燃料費								
計			10	m ³				
			1	m ³				

備考 1 本表は、プロセッサまたはハーベスタを用いて行う造材（枝払い・玉切り）の作業に適用する。

No. I-7-5(2)

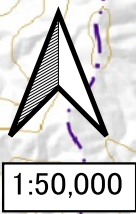
間伐 造材 (C・D材)

(10m³当たり)

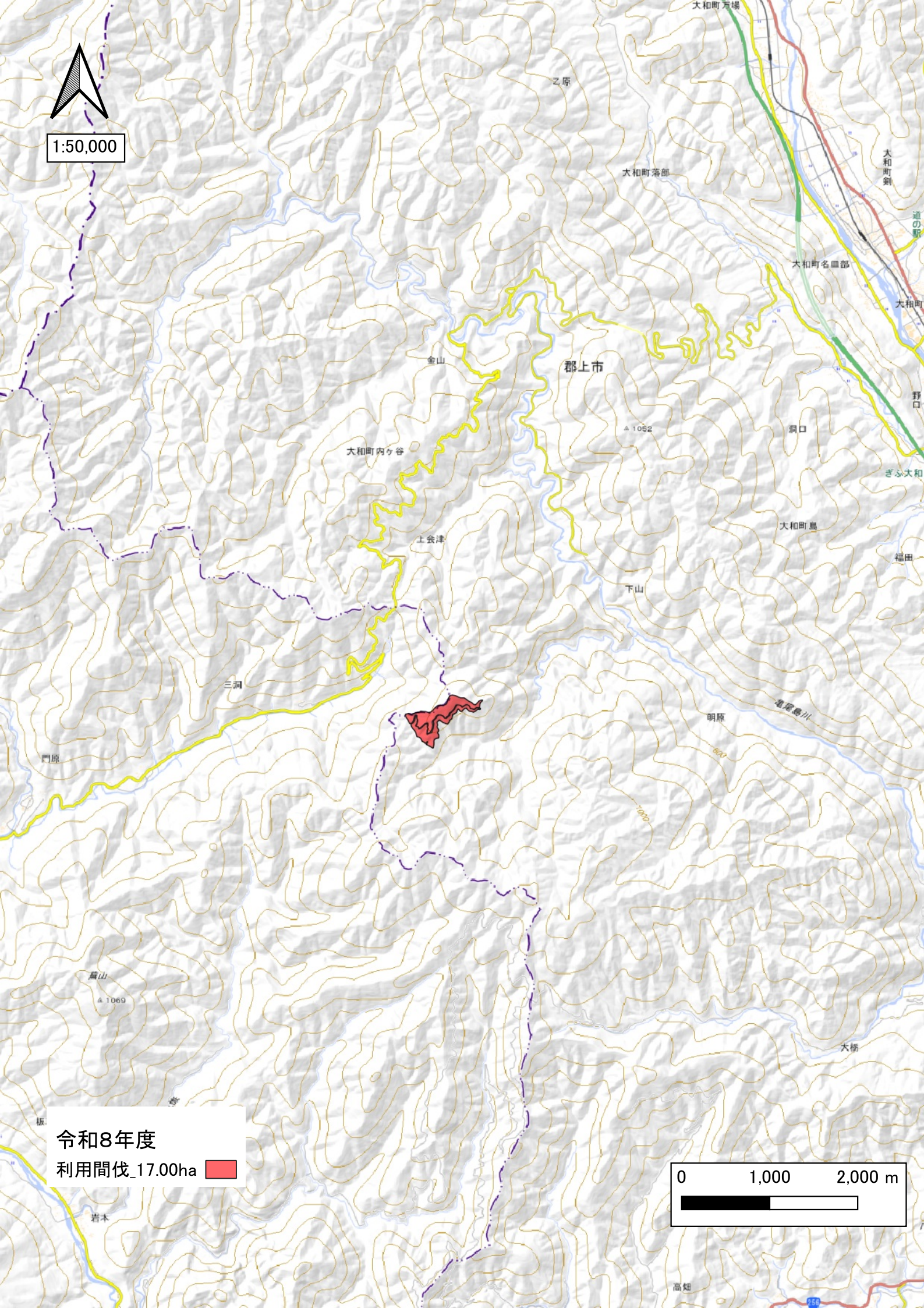
林業機械：プロセッサまたはハーベスタのベ-スマシ規格 0.45m³

名 称	種 別	形状・寸法	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	単価表 番 号	摘 要
特殊運転手								
損料	バックホウ							
損料	アタッチメント							
燃料費								
計			10	m ³				
			1	m ³				

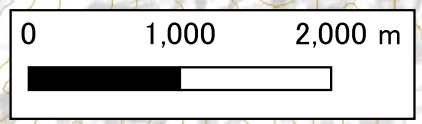
備考 1 本表は、プロセッサまたはハーベスタを用いて行う造材（枝払い・玉切り）の作業に適用する。



1:50,000



令和8年度
利用間伐_17.00ha ■



乙原

大和町落部

大和町名田部

大和町剣

郡上市

金山

大和町内ヶ谷

上会津

大和町島

下山

三洞

明原

電燈巻川

門原

藤山

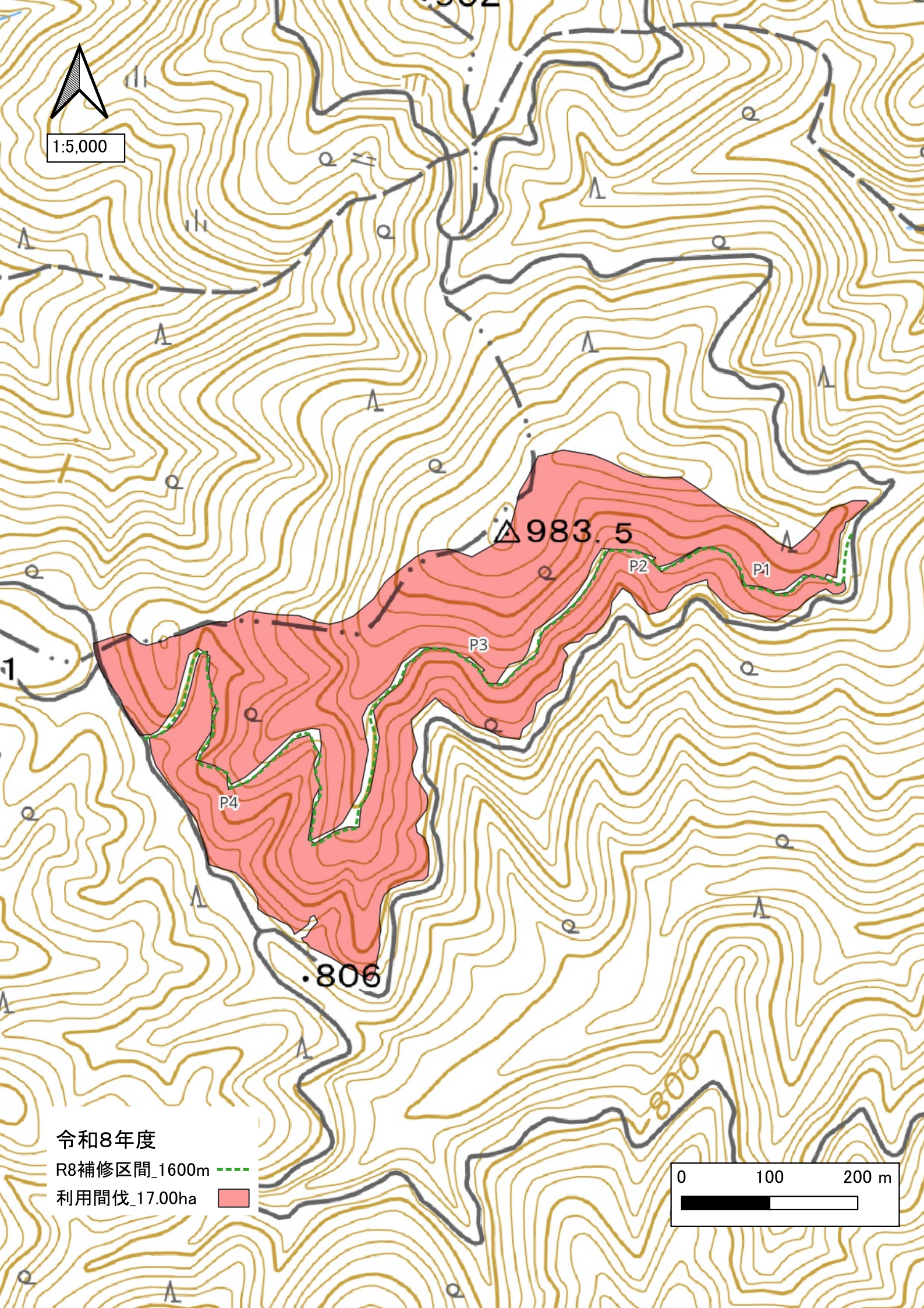
▲ 1069

大橋

板

岩本

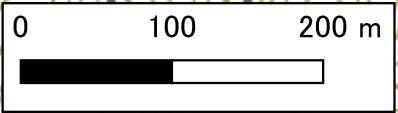
高畑



令和8年度

R8補修区間_1600m

利用間伐_17.00ha



カテゴリー

郡上 > 大和

契約番号

1007

字名

下平

植栽面積

植栽面積(ha)

調査日

2025-10-28

年度

2025年度

年

2025

月

10

プロットNo

P 1

状況写真



成立本数

12 本

施工管理表

緯度

経度

森林野帳

No	樹種	胸高直径	樹高	被害状況
1	ヒノキ	24 cm	14 m	
2	ヒノキ	22 cm	14 m	
3	ヒノキ	20 cm		
4	ヒノキ	18 cm		
5	ヒノキ	26 cm	16 m	
6	ヒノキ	22 cm		
7	ヒノキ	26 cm	16 m	
8	ヒノキ	20 cm		
9	ヒノキ	22 cm		
10	ヒノキ	16 cm		
11	ヒノキ	24 cm		
12	ヒノキ	26 cm		

カテゴリー

郡上 > 大和

契約番号

1007

字名

下平

植栽面積

植栽面積(ha)

調査日

2025-11-11

年度

2025年度

年

2025

月

11

プロットNo

P 2

状況写真



成立本数

12 本

施工管理表

緯度

経度

森林野帳

No	樹種	胸高直径	樹高	被害状況
1	ヒノキ	24 cm	19 m	
2	ヒノキ	24 cm		獣害
3	ヒノキ	24 cm		
4	ヒノキ	32 cm		
5	ヒノキ	30 cm	19 m	根曲り
6	ヒノキ	20 cm		
7	ヒノキ	28 cm		
8	ヒノキ	30 cm		
9	ヒノキ	26 cm		
10	ヒノキ	22 cm		根曲り
11	ヒノキ	34 cm		根曲り
12	ヒノキ	20 cm		

カテゴリー

郡上 > 大和

契約番号

1007

字名

下平

植栽面積

植栽面積(ha)

調査日

2025-11-11

年度

2025年度

年

2025

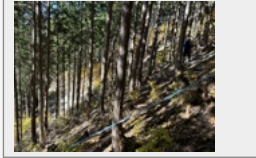
月

11

プロットNo

P 3

状況写真



成立本数

11 本

施工管理表

緯度

経度

森林野帳

No	樹種	胸高直径	樹高	被害状況
1	ヒノキ	20 cm		
2	ヒノキ	20 cm		
3	ヒノキ	22 cm		
4	ヒノキ	20 cm		
5	ヒノキ	18 cm		
6	ヒノキ	22 cm		
7	ヒノキ	22 cm		
8	ヒノキ	22 cm	18 m	
9	ヒノキ	24 cm		
10	ヒノキ	20 cm		根曲り
11	ヒノキ	22 cm		

カテゴリー

郡上 > 大和

契約番号

1007

字名

下平

植栽面積

植栽面積(ha)

調査日

2025-11-11

年度

2025年度

年

2025

月

11

プロットNo

P 4

状況写真



成立本数

9 本

施工管理表

緯度

経度

森林野帳

No	樹種	胸高直径	樹高	被害状況
1	ヒノキ	26 cm		
2	ヒノキ	20 cm	18 m	
3	ヒノキ	20 cm		
4	ヒノキ	26 cm		
5	ヒノキ	22 cm		
6	ヒノキ	26 cm		
7	ヒノキ	24 cm		
8	ヒノキ	20 cm		
9	ヒノキ	20 cm		

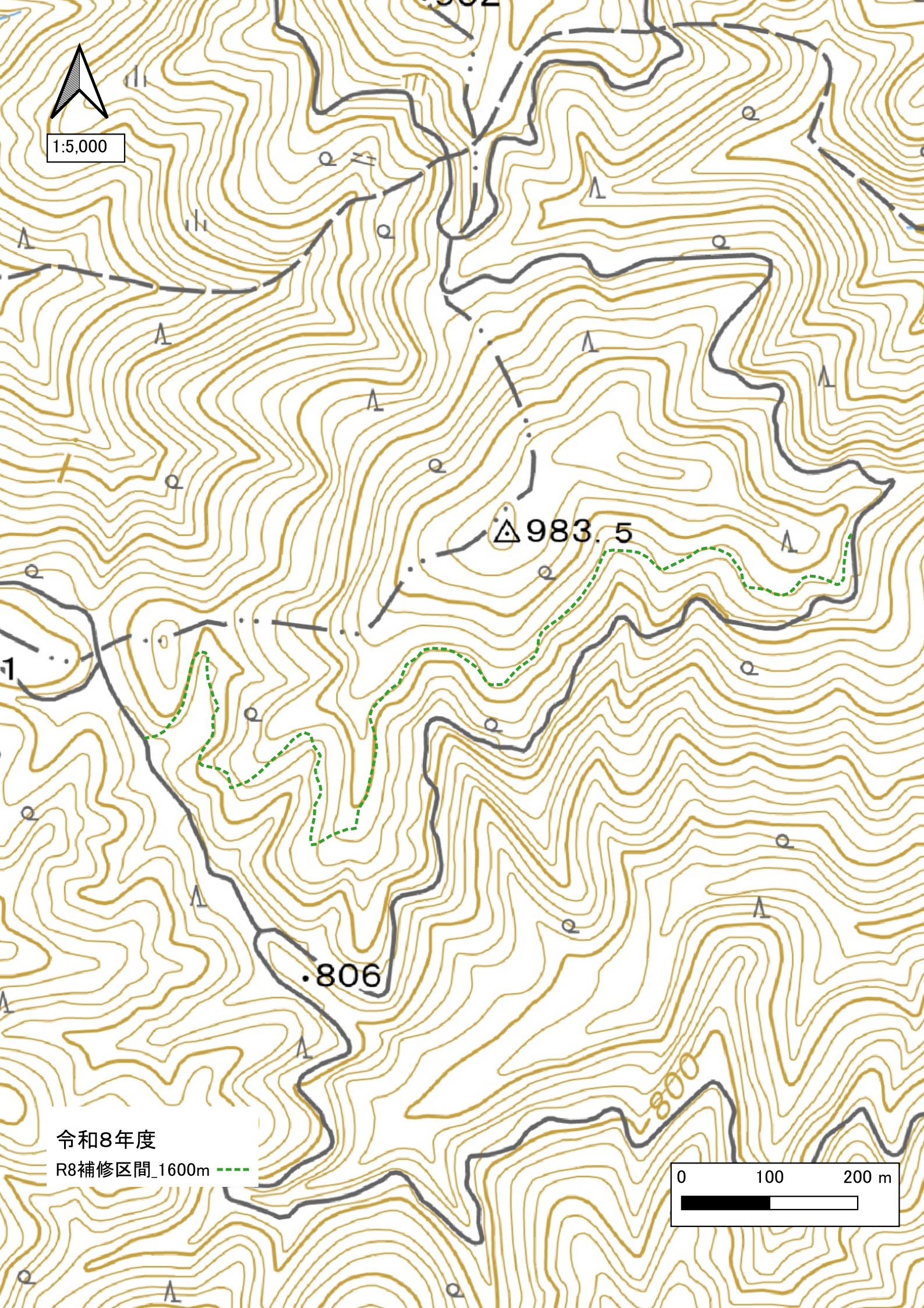
令和 8 年度 作業路補修仕様書

H29下平線2 線

施工箇所	契約地番号	市・町・村	大字	字
	やし	郡上市大和町	内ヶ谷	棚元

補修延長
1,600 m

費目	工種	区分	数量	単位	単価	金額	備考
	敷き均し	ブルドーザー	10.0	h			
	機械運搬費		1	式			
	小計						
	共通仮設費		1	式			
	小計						
	間接工事費	間接費	現場監督費	1	式		
法定福利費			18.0	%			
小計							
工事価格							
消費税			10.0	%			
合計			1,600	m			

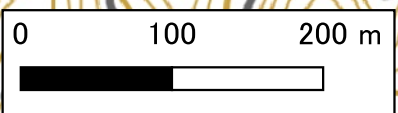


△ 983.5

806

800

令和8年度
R8補修区間_1600m





契約番号 やし
事業地 郡上市大和町内ヶ谷字下平
事業名 作業路補修
事業量 1600m
項目名 現況写真
細項目 起点
備考



契約番号 やし
事業地 郡上市大和町内ヶ谷字下平
事業名 作業路補修
事業量 1600m
項目名 現況写真
細項目 路面洗堀
備考



契約番号 やし
事業地 郡上市大和町内ヶ谷字下平
事業名 作業路補修
事業量 1600m
項目名 現況写真
細項目 法面崩壊
備考

利用間伐事業(作業路補修含む)特記仕様書

第1 選木・伐倒

- 1 選木にあたっては、劣勢木や形状の悪い木を選木し、施工地内において残存木の配置が均等になるように伐採すること。ただし、病虫害、獣害、風雪害等の被害木については、優先的に伐倒すること。
- 2 伐倒にあたっては、かかり木のないようにし、対象木以外の立木を損傷しないよう注意すること。
- 3 かかり木については、危険のないように適正に処理し、そのまま放置することなく、地面に引き落としてから次の作業をおこなうこと。
- 4 搬出しない伐倒木は、概ね等高線に平行に残置することとし、後続作業の支障及び山地荒廃の誘因とならないようにすること。

第2 造材・集積

- 1 曲がり・腐り・変色・空洞等の欠点がある場合は、当該部分を除いて造材するなど、市場価値の高い素材の生産に努めること。
- 2 材長測定は正確におこない、特に材長不足のないよう注意すること。
- 3 玉切りは材の軸に直角に切り、割れ、木口欠け、斜切等のないよう平滑におこなうこと。
- 4 搬出材の集積箇所は最寄りの道路際とし、集積作業にあたっては、木材の価値を損ねないよう、木材の損傷に注意して作業すること。また、残存木にも損傷を与えないように注意し、必要に応じてあて木等の措置を講じること。
- 5 搬出しない材及び枝条等は、他の作業の支障とならないよう整理すること。
- 6 上記のほか、造材及び集積方法等について監督員から指示があった場合は、指示に従うこと。
- 7 やむを得ず使用数量に変更が生じる場合は事前に協議すること。

第3 土工横断排水工の設置

- 1 間伐木の運搬完了後、使用した作業道に土工横断排水工を設置すること。
- 2 土工横断排水工は、降雨時の湧水などが路面を流れ始める付近に設け、路面水が分散するように設置すること。
- 3 路面水は、盛土部分や崩壊危険地など水に弱い場所へ排水しないこと。
- 4 長期間作業道を使用しない場合は、土砂が堆積しても十分に排水されるような土工横断排水工とすること。

第4 作業路補修の実施

- 1 作業路補修は、路面流出箇所、崩土箇所等の整備を行い、補修不能の箇所は迂回路を作設すること。
- 2 作業路補修は、利用間伐実施前に完成写真を撮影し、間伐実施後に車両通行に支障がない程度に整理のうえ、完成検査を受検すること。ただし、工期に余裕がある場合は、利用間伐実施前に完成届を提出し完成検査を受検することができるものとする。

第5 出来形管理基準

工種	管理項目	測定項目	標準地の設定	規格値			管理図書
				管理項目	一標準地	標準地平均	
間伐	面積	施工箇所毎に区域、状況を判定	—	設計値以上			出来形図判定状況表写真
	伐採本数 又は 伐採率	施工箇所毎標準地を設定、本数・伐採率を測定	設定数は、1施工箇所の面積に対し、 1ha未満……1箇所以上 1～5ha未満……2箇所以上 5～10ha未満……3箇所以上 10ha以上……5箇所以上 又は、仕様書による	本数	±20%以内	+20%以内	標準地位置図測定結果表写真
	搬出材積 (搬出がある場合)	末口径、長さ、本数を測定	—	伐採率	設計値以上		搬出材積集計表

※標準地1箇所の大きさは10m×10m以上とする

工種	管理項目	測定項目	留意事項	規格値		管理図書
				管理項目	基準値	
作業路 (歩道) 補修	延長・幅	延長は全測点間を測定、幅は100m毎に1箇所測定	—	延長	設計値以上	出来形図測定結果表写真
	積上設計	岐阜県森林公社の造林作業路検査基準に準ずる。			幅員	

第6 写真管理

以下の写真を撮影し提出（出力一式+データ）すること。

- 1 利用間伐
 - (1) 伐採作業前、作業後の状況 … 設定したプロット毎に各1枚以上
※前後を対比できるように撮影すること
 - (2) 伐採、造材、集材状況 … 各3枚程度以上
- 2 作業路補修
 - (1) 作業前、作業中、作業後の状況を3箇所程度以上
- 3 撮影方法について
 - (1) 事業実施前・中・後の写真は、施工年度、事業箇所、事業内容を明記した黒板等を入れ撮影すること。
 - (2) 近景写真は備考欄に写真を撮影した場所（GPS等を用いた緯度・経度、又は測点）を記入すること。
 - (3) 撮影箇所は、出来高図面等に撮影位置を明示すること。